

## サイボウズ、「DX人材育成ガイドライン」を無料公開

ノーコードツールを活用したDX人材育成方法を、大企業の実例とともに紹介

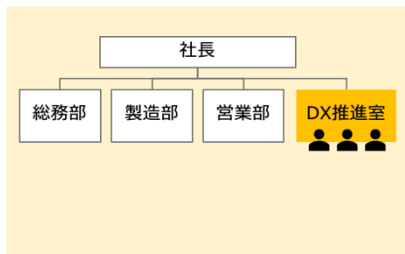
サイボウズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：青野慶久、以下サイボウズ）は、企業のDX責任者・推進者を対象に、企業のDX（デジタル・トランスフォーメーション）人材の育成のためのガイドライン「DX人材育成ガイドラインーノーコード活用の先進事例ー」をエン・ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木孝二、以下エン・ジャパン）と共同で執筆し、無料で公開しました。本ガイドラインは、ITの専門知識がなくてもDX推進の実現を可能にする、ノーコードツールを活用したDX人材育成手法、DX推進事例などを、京セラ株式会社、日清食品ホールディングス株式会社、日本航空株式会社、星野リゾートなどの企業事例とともに紹介しています。

### 3.3.3. 候補者のアサイン（2/2）

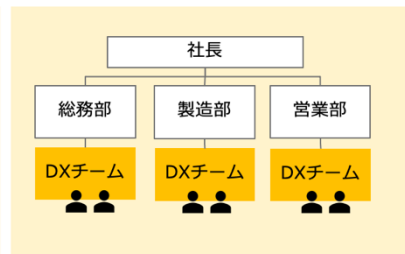
- DXプロジェクトに人材をアサイン（配置）する際、**組織デザインをセットで考える必要があります。**
- **組織の基本形は「機能別」「事業部別」「マトリックス型」の3つで、いずれもメリット、デメリットがあります。**
- DX推進の目的を踏まえ組織デザインを決定し、人と組織の発展に伴い、柔軟に組織自体もトランスフォームする必要があります。

#### DX組織の配置方法

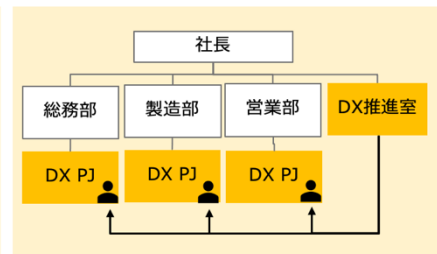
##### ①：DX人材を集中配置する 「機能別組織」



##### ②：DX人材を分散配置する 「事業部別組織」



##### ③：①と②のミックス 「マトリックス型組織」



「DX 人材育成ガイドラインーノーコード活用の先進事例ー」は、以下の URL より、無料でダウンロードできます。

[https://kintone.cybozu.co.jp/jp/DXHumanResourceDevelopment\\_guideline/](https://kintone.cybozu.co.jp/jp/DXHumanResourceDevelopment_guideline/)

## ■ 「DX 人材育成ガイドラインーノーコード活用の先進事例ー」作成の背景と目的

「DX 人材育成ガイドラインーノーコード活用の先進事例ー」は、そもそも DX 人材とは何かという定義に始まり、DX 人材に必要なスキルやノーコードツールとの関係性、人材育成ルートなどを具体的に解説しています。また、実際に DX 人材育成に取り組む企業の人材育成プランや、ノーコードツールを通して非 IT 部門や非 IT 専門従事者が DX 推進を実現した事例などを紹介し、読者が DX 人材育成に向けて、具体的なゴール設定やそのためのステップを考え、またノーコードを活用して DX を推進するヒントとなる情報を掲載しています。

本ガイドラインは、サイボウズの「kintone（キントーン）」を利用する大企業ユーザー会「kintone Enterprise Circle（kintone EPC）」の「DX 人材育成分科会」での活動のアウトプットとして作成されました。「kintone EPC」は、kintone の大企業ユーザーが kintone の活用方法や各社の課題や取り組みについて、ナレッジやノウハウを共有する目的で立ち上げられており、「DX 人材育成分科会」は、DX 人材育成にテーマを絞った意見交換などの活動をしています。このたび、本分科会で得られたノウハウを取りまとめ、DX 人材育成に悩む各企業に参考にしていただきたいという思いから、本ガイドラインの発行・公開が決定しました。本分科会の参加企業であり、実際に kintone を活用して社内 DX を実現したエン・ジャパンと、サイボウズによる共著になります。第 4 章の事例パートでは、「kintone EPC」会員企業を中心に、社内の具体的な取り組み状況を各社の担当者にインタビューし、事例としてまとめています。

サイボウズは、本ガイドラインを活用したセミナー開催などを通して、DX 人材育成を目指す企業に貢献してまいります。

## ■ 「DX 人材育成ガイドラインーノーコード活用の先進事例ー」概要

### ▼目次

#### 第 1 章：はじめに

#### 第 2 章：いま直面している課題

- 2.1. DX 人材の「定義」
- 2.2. DX 人材の「獲得・確保」
- 2.3. DX 人材の育成が「上手くいかない理由」

#### 第 3 章：DX 人材の育成手法

- 3.1. DX とは
- 3.2. DX 人材の育成とは
- 3.3. DX 人材の育成における考慮点
  - 3.3.1. 人材が育つ環境（土壌）
  - 3.3.2. DX の発展段階と求められる人材像
  - 3.3.3. 候補者のアサイン

- 3.4. DX 人材とは
- 3.5. DX 人材に必要なスキル
- 3.6. DX 人材の育成ルート
- 3.7. 人材育成のゴールとステップ
- 3.8. デジタルスキル習得とノーコードの関係性
- 3.9. 組織変革スキル習得のための育成パターン

## 第4章：事例

- 事例 01：京セラ株式会社
- 事例 02：日清食品グループ
- 事例 03：日本航空株式会社
- 事例 04：星野リゾート

## Appendix

- 「DX 推進スキル標準」の人材類型
- 性格特性による人材発掘
- 性格特性を踏まえた育成・マネジメント
- キャリア志向による人材発掘
- 経験学習とは
- タフアサインメントの効果
- 2つのマインドセット
- アンラーニングの重要性

## 事例サマリー

- ・本事例におけるDXとは「社内業務のデジタル化」を前提としてインタビューを実施した。
- ・全社ともDX人材として教育する対象は現場の業務に従事している社内人材であるという共通点があった。
- ・教育対象となった人材は、非IT職人材・自らの業務に課題を持っている・改善意欲があることが共通点である。
- ・Dスキルの教育は、ノーコードツール(kintone等)を採用し、非IT職人材でもITツールを利用した業務改善を行っている。
- ・Xスキルの教育は、多くの会社がプロジェクト参加型による教育を採用しているが、いずれの会社も模索中である様子が伺えた。
- ・各社の文化には違いはあるが、各社の文化に合った形で意図的に人材が育つ環境を構築していた。

### 事例-01：京セラ株式会社

自分の業務に「ビジョン」を持った現場社員を  
Uターン前提でDX推進部へ配置し集中的に教育

### 事例-03：日本航空株式会社

業務改善に「熟意」ある現場のノーコードDX人材育成を  
IT推進部門が支援

### 事例-02：日清食品グループ

現場社員のデジタル武装を進める  
目の前の業務を改善する「業務改善・デジタル化人材」の育成

### 事例-04：星野リゾート

自社の戦略/組織/価値観をベースに  
「課題設定力」「巻き込み力」のある人材を現場で育成



「DX 人材育成ガイドラインーノーコード活用の先進事例ー」は、以下の URL より、無料でダウンロードできます。

[https://kintone.cybozu.co.jp/jp/DXHumanResourceDevelopment\\_guideline/](https://kintone.cybozu.co.jp/jp/DXHumanResourceDevelopment_guideline/)

#### ■kintone とは

東証プライム上場企業の 3 社に 1 社を含む、30,500 社以上が利用しているサイボウズのノーコード・ローコードツール。IT の知識がなくても自社の業務に合わせたアプリを作成でき、日々変化する業務にあわせた改良も簡単に素早くできます。主な機能として「データベース+ワークフロー+コミュニケーション」の特性があり、顧客管理、出張申請、業務日報など幅広い用途で活用できるため、現場主導の継続的な業務改善を実現します。

製品サイト：<https://kintone.cybozu.co.jp>

---

報道関係者様からのお問い合わせ先

サイボウズ株式会社 広報：鈴木、吉村

〒103-6027 東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー 27 階

TEL: 03-6757-1250 / MAIL: [pr@cybozu.co.jp](mailto:pr@cybozu.co.jp)

---

※商標・著作権表示に関する注記については、こちらをご参照下さい。

<https://cybozu.co.jp/logotypes/other-trademark/>